

福祉施設の希望する寄附の状況

平成26年度 東京善意銀行 物品・寄附等希望アンケート 集約結果

東京善意銀行の取り組み

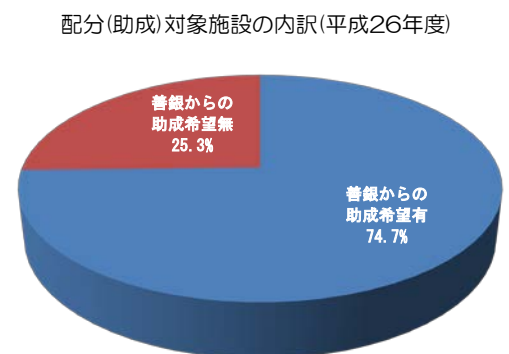
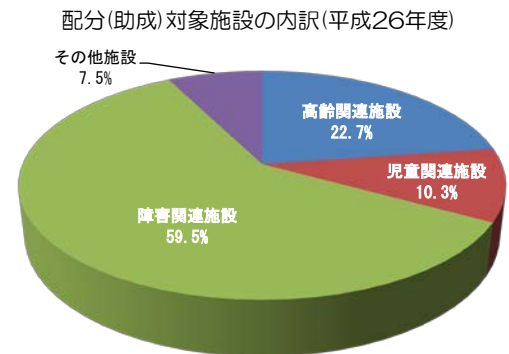
- ▶ 東京善意銀行は、昭和39年(財団法人 東京善意協会として設立)から都民・企業・団体の皆さまからの「福祉の役にたきたい」とのお気持ちを、東京都内の福祉施設とその利用者に届ける橋渡しの役を務めています。昭和45年に財団法人 東京善意銀行と改称、平成17年に社会福祉法人 東京都社会福祉協議会(東社協)に事業を移管し、事業を継続しています。
- ▶ 都民・企業・団体の皆さまからいただいた寄附(現金・物品・招待)を、適正・公平に、また、福祉施設の希望にできるだけ沿えるよう、東京善意銀行では、毎年、福祉施設の希望する寄附等の現況把握と、必要としている物品等の把握のためのアンケートを行っています。また、寄附配分(助成)を、より効果的できめ細かく対応できるよう福祉施設へのヒアリング調査も実施しています。

26年度の配分(助成)対象施設の状況

- ▶ 配分(助成)対象の福祉施設は、全体で約2,300施設です。その施設種別内訳は、障害関連施設が60%、高齢関連施設23%、児童関連施設10%です。
- ▶ 善意銀行への現金による寄附は、福祉施設での必要な物品の購入費用として、善意銀行から助成金として配分していますが、全体の3/4(75%)がこの助成を希望しています。

福祉施設の希望品は施設種別に関わらず、パソコンやテレビ等の家電製品の希望が多くあります。施設種別ごとの希望品の主な内容は下表のとおりです。

| | |
|--------|--|
| 高齢関連施設 | 車いす(チルト・リクライニング式)、電動ベッド、エアーマット等の介護用具やソファ、テレビの希望が多い |
| 障害関連施設 | パソコン、タブレット端末等の希望が多い。その他、プロジェクター、授産活動の品、デジカメ等 |
| 児童関連施設 | 自転車、遊具、白物家電の希望が多い。通所施設は楽器や知育玩具、乳児施設はベビーカー、その他テーブル等の家具を希望 |
| その他の施設 | 家電製品等の希望が多い |



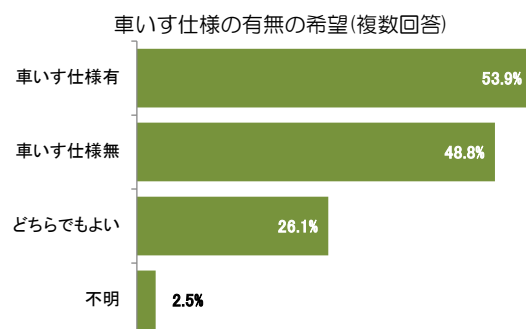
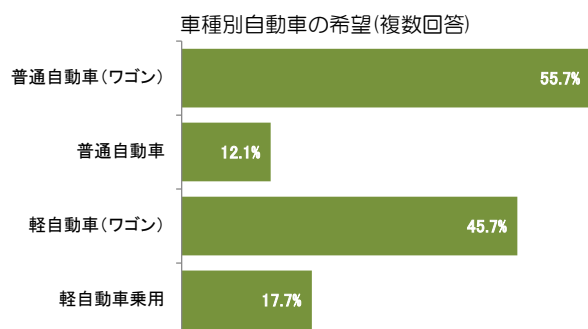
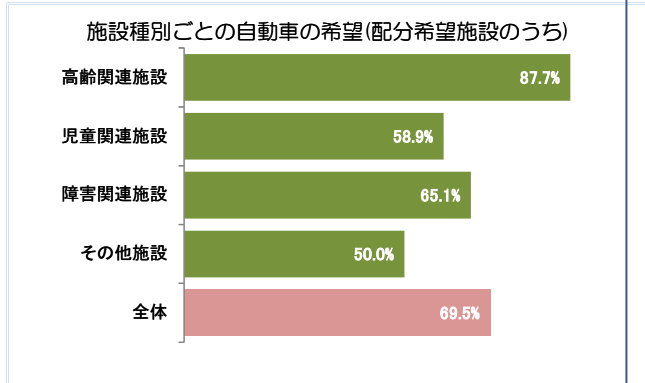
- ▶ 助成金の配分は、このアンケートの回答内容に基づき助成申請を募り、善意銀行の運営委員会で審査の上、助成決定を行っています(年3回程度)。

平成26年度は、のべ248か所の福祉施設・団体に物品購入の助成金等として配分しました。

物品・招待寄附の希望の状況

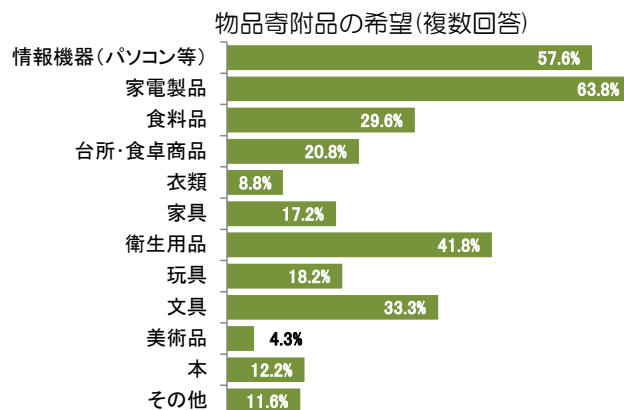
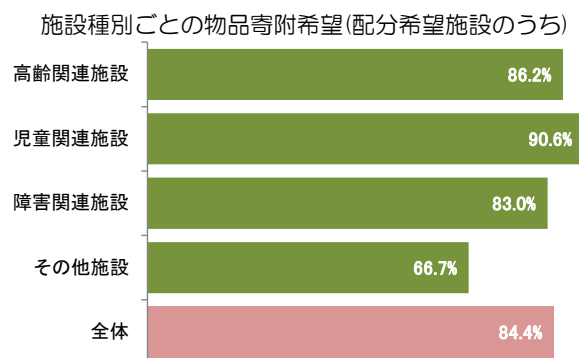
1 自動車の希望状況

- ▶ 寄附配分を希望する福祉施設（回答施設）の約7割が自動車を希望しています。福祉施設の規模や事業内容によりますが、高齢者施設では9割弱の施設で希望があります。
- ▶ 自動車を希望する福祉施設は、全体では普通自動車、軽自動車ともほぼ同割合ですが、いずれもワゴンタイプの車種の希望が多くなっています。
- ▶ 車いす仕様の有無では、ワゴンタイプの車種希望の場合に車いす仕様有の割合が高くなっています。



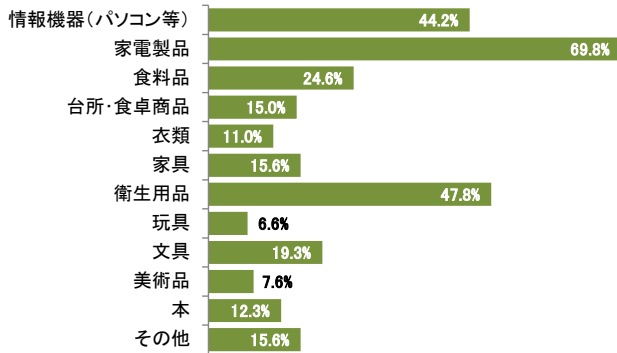
2 物品寄附の希望状況

- ▶ 物品の寄附は、いずれの施設種別でも8割を超える希望があります。
- ▶ 物品の品目別では、全体では家電製品、情報機器（パソコン等）、衛生用品、文具、台所・食卓商品の順で希望が多くなっています。
- ▶ 高齢関連施設では、希望物品の上位は、家電製品、衛生用品、情報機器（パソコン等）で、その他、車いすや介護用品の希望があります。
- ▶ 児童関連施設では、希望物品の上位は、家電製品、情報機器（パソコン等）、玩具です。その他遊具や文具、衛生用品等の希望が多くなっています
- ▶ 障害関連施設では、タブレット端末も含めて情報機器（パソコン等）が最も多く、家電製品、衛生用品の希望が上位品です。

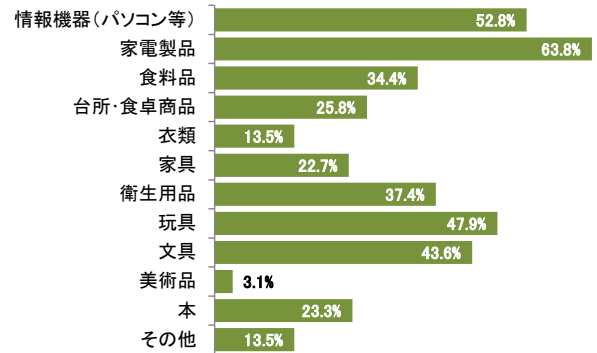


<施設種別ごとの物品寄附品の希望(複数回答)>

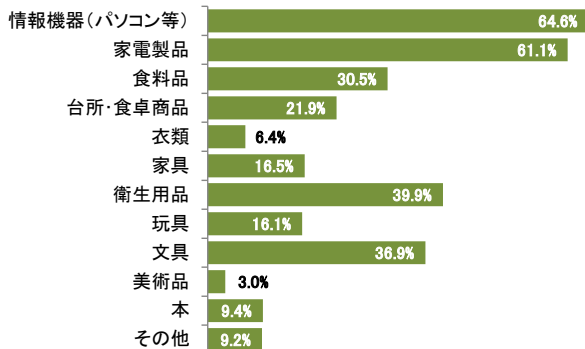
【高齢関連施設】物品寄附品の希望(複数回答)



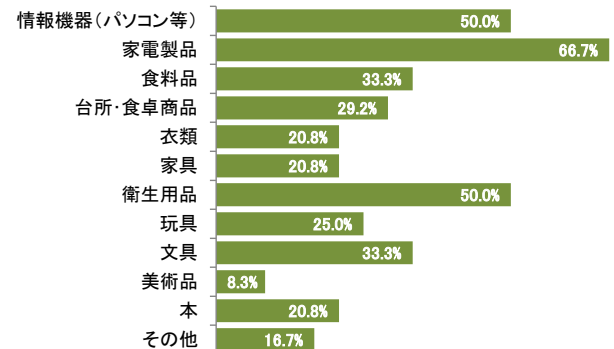
【児童関連施設】物品寄附品の希望(複数回答)



【障害関連施設】物品寄附品の希望(複数回答)



【その他施設】物品寄附品の希望(複数回答)



3 招待寄附の希望状況

▶ 招待の寄附(配分)希望は、施設種別では障害関連施設、児童関連施設の希望が多くなっています。

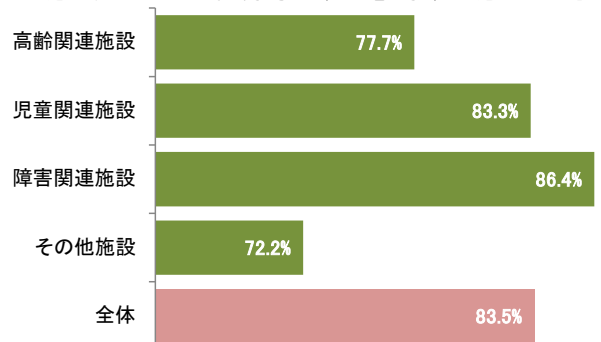
利用者の状況や、付添等の職員体制等によって施設種別によって希望の多寡があります。

▶ 希望分野ごとでは、全体では、野球・サッカー等のスポーツ観戦、サーカスが多く、音楽鑑賞や演劇鑑賞の希望が続きます。

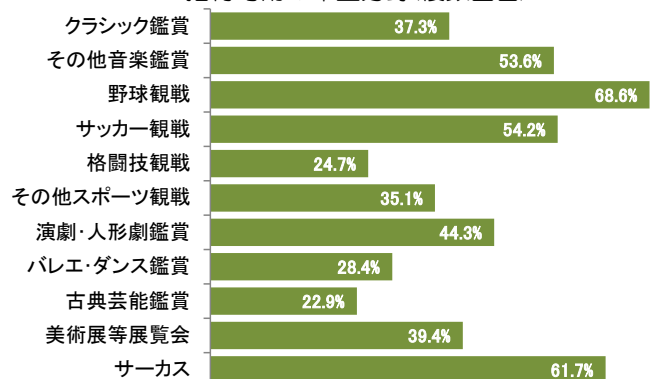
その他、参加にあたって、車いす等の対応を希望する施設、職員の付添等の関係で曜日の希望も寄せられています。

▶ 東京善意銀行では、招待寄附をいただく招待数や、寄附いただく企業等の意向、イベント・催物等によって、希望する施設種別に公平にお渡しできるよう、丁寧な調整に心掛けています。

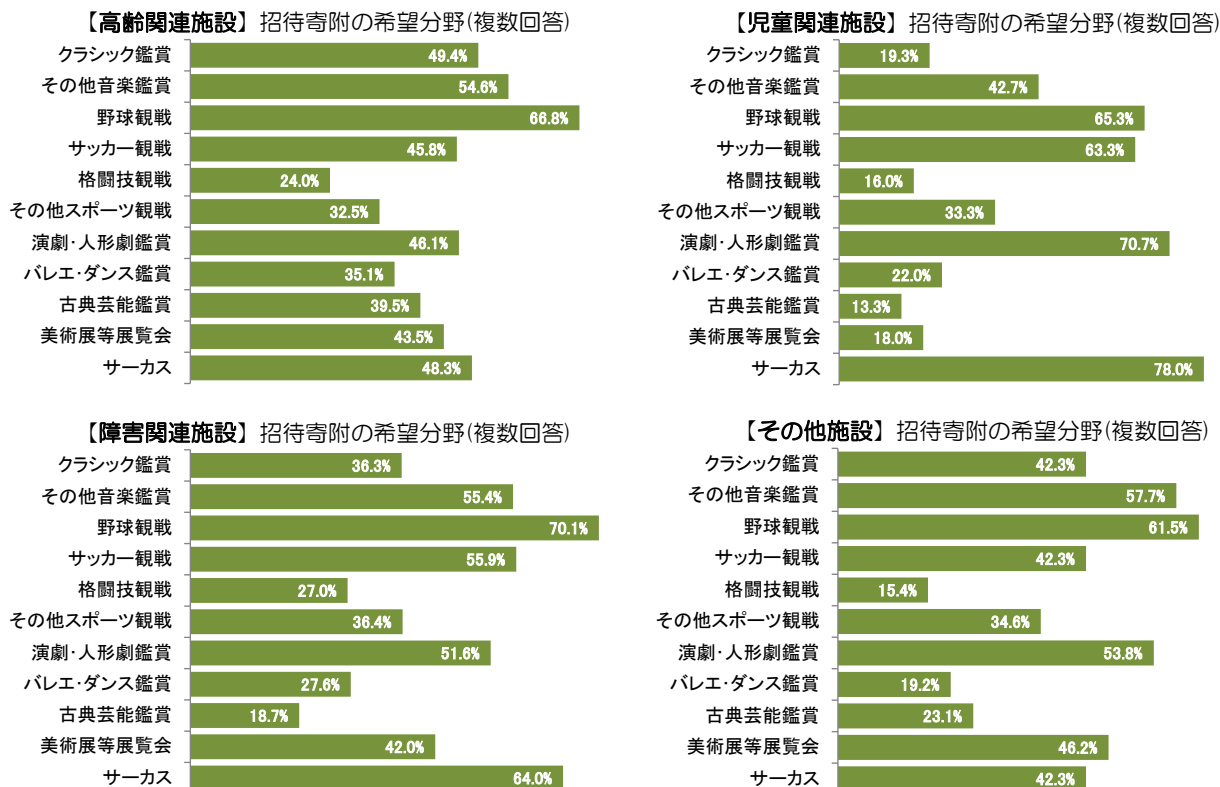
施設種別ごとの招待寄附希望(配分希望施設のうち)



招待寄附の希望分野(複数回答)



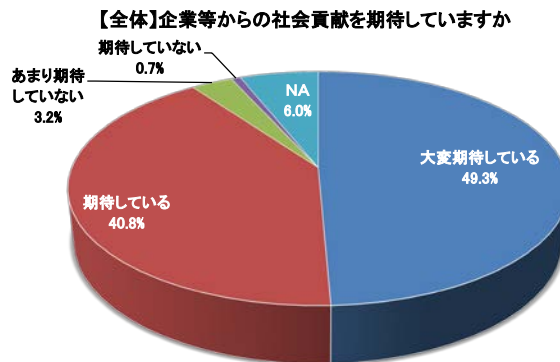
<施設種別ごとの招待寄附の希望(複数回答)>



企業等の社会貢献に関する福祉施設の意向

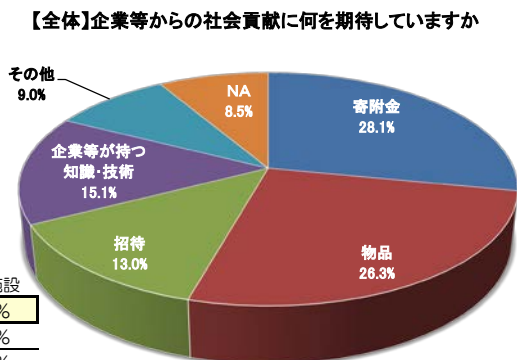
福祉施設は企業等の社会貢献に大きな期待

- ▶平成 26 年度の寄附等希望アンケートにあわせて、企業等の社会貢献に関する福祉施設の意向を確認しました。
- ▶9割を超える福祉施設が企業等からの社会貢献を期待しています。いずれの施設種別でもほぼ同割合です。



寄附金・物品・招待寄附の期待大、知識・技能の提供(寄附)にも期待

- ▶寄附金、物品・招待寄附の期待が大きいですが、企業の持つ知識・技能の提供(寄附)にも 15%前後の期待があります。



企業等からの社会貢献に何を期待していますか

| | 全 体 | 高齢関連施設 | 児童関連施設 | 障害関連施設 | その他施設 |
|-------------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 寄附金 | 28.1% | 25.2% | 34.4% | 27.6% | 36.1% |
| 物品寄附 | 26.3% | 38.7% | 23.3% | 21.9% | 22.2% |
| 招待寄附 | 13.0% | 10.9% | 15.6% | 13.2% | 16.7% |
| 企業等が持つ知識・技術 | 15.1% | 15.5% | 10.6% | 16.3% | 8.3% |
| その他 | 9.0% | 3.4% | 7.2% | 11.8% | 5.6% |
| NA | 8.5% | 6.3% | 8.9% | 9.2% | 11.1% |

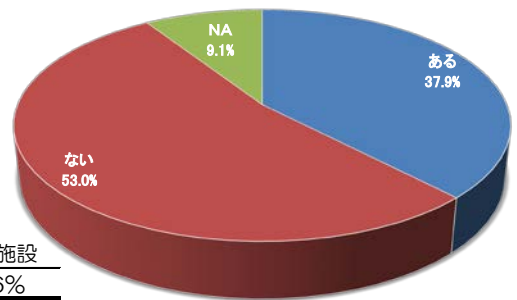
身近な企業等から社会貢献を受ける機会はない福祉施設が半数超

- ▶ 身近な地域の企業等から直接社会貢献を受ける機会が「ない」とする福祉施設が全体の半数を超えています。
- ▶ ただし、施設種別ごとで見ると、児童関連施設のみ6割弱で「ある」となっています。

身近な地域にある企業から社会貢献を受ける機会がありましたか

| | 全体 | 高齢関連施設 | 児童関連施設 | 障害関連施設 | その他施設 |
|----|-------|--------|--------|--------|-------|
| ある | 37.9% | 28.9% | 58.3% | 37.5% | 30.6% |
| ない | 53.0% | 63.9% | 33.3% | 52.7% | 52.8% |
| NA | 9.1% | 7.2% | 8.3% | 9.8% | 16.7% |

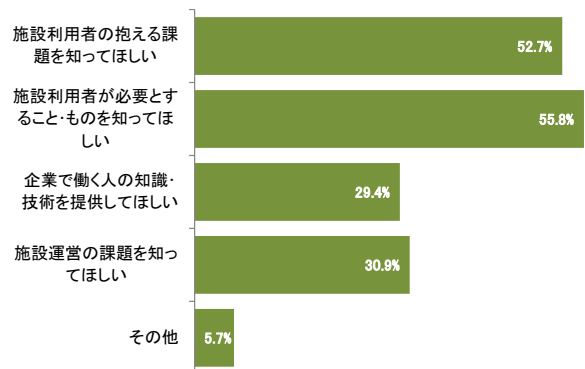
【全体】
身近な企業等から社会貢献を受ける機会がありましたか



企業等に福祉施設利用者のごこと(抱える課題、必要としていること)を伝えたい

- ▶ 企業等が行う社会貢献に対して伝えたいことでは、「福祉施設利用者の課題を知ってほしい」、「福祉施設利用者の必要とすること・ものを知ってほしい」がいずれも5割超となっています。
- ▶ その他の主な意見は以下のとおりです。

【全体】 企業の行う社会貢献に対して伝えたいこと(複数回答)



〈高齢関連施設〉 ▶社員による継続的なボランティア活動への支援 ▶社会福祉施設の利用 ▶利用者の生活への潤いや活気につながる ▶定期的に団体で協力いただけるような社会貢献を期待 ▶施設タイプ別の役割や重要性を知ってほしい

〈児童関連施設〉 ▶施設利用者への理解 ▶施設利用者、子どもたちの社会参加、健全育成に力を注いでほしい ▶体育館、グラウンド等貸出 ▶進学(大学等)に関わる経費 ▶物品寄附はありがたいが、不用品(古い・使いかけ)の寄附は困ることもある ▶企業と一緒に社会貢献したい ▶障害が重いため、外出する上でも体力面で制約があるので、施設を訪問してくれるボランティアが増えると良い ▶施設入所児の特性(性格、能力、保護者不在など)を理解したうえで就労の場を提供して欲しい

〈障害関連施設〉 ▶障害者雇用結びつく就労体験の機会 ▶作業所自主製品の販路拡大への協力 ▶障害者への理解が進むような啓発 ▶イベントの企画、外部への発信等に期待 ▶地域で障害者が暮らしていることを知ってほしい ▶障害についての理解を深めてほしい ▶仕事の提供(物より仕事) ▶障害者雇用の拡大、安定雇用 ▶障害者への理解向上のため活動を一緒にしてほしい ▶企業と施設の相互理解、連携の必要性を知ってほしい ▶自由に使える助成金(寄附金) ▶共に何かを考えたり作っていったり、長く連携してほしい ▶ホームページの作成 ▶障害児者を身近に知ってほしい ▶企業と施設の交流、相互理解 ▶障害者も社会貢献できることを知ってほしい ▶一方的な善意の押しつけはほしくない ▶障害者就労への理解と支援

善意銀行にはこれまで通り、物品や招待寄附の橋渡しを期待

▶ 福祉施設に、東京善意銀行に期待することは何かを尋ねたところ、「これまで通り物品や招待寄附の橋渡しをしてほしい」とする回答が64%でした。

▶ また、「地域の企業との橋渡しをしてほしい」という回答も、どの施設種別でも2割前後あります。

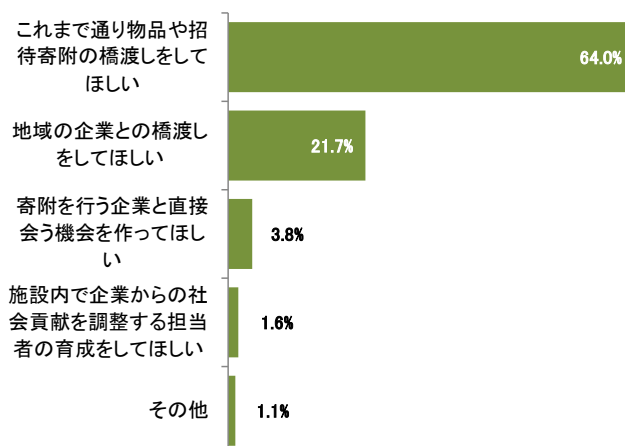
▶ その他の主な意見は以下のとおりです。

〈高年齢関連施設〉 ▶ 招待をいただいても遠方には行きにくいので、物品や購入の補助をお願いしたい ▶ 役割を明確にしてともに福祉業界の情報発信の協力をいただきたい

〈児童関連施設〉 ▶ 職業体験や就職へのつながりがあるとよい ▶ クリスマス会などにお菓子等いただき感謝しています ▶ 一緒に取り組む企業の紹介をしてほしい

〈障害関連施設〉 ▶ 社員研修としての施設での実習、ボランティアのコーディネート ▶ 施設の特性を考え、仕事を提供してほしい ▶ 障害を理解していただくための協力も可能なので、施設を研修・研究のフィールドとして活用していただくための橋渡しなどをお願いしたい ▶ 障害者への理解と作業(仕事)の紹介 ▶ 企業内での自主製品の販売の斡旋を希望 ▶ 出来るだけ多くの人に当事業所のあることをアナウンスする手助けをして欲しい ▶ 寄附や社会貢献についての正しい啓発 ▶ これまで同様に物品、招待寄附の橋渡しをしていただきたい

【全体】東京善意銀行に期待すること



〈事業実績〉

| 平成26年度実績 | 寄附受入 | | 配分か所数 | 備考 |
|----------|--------|----------|---------|-----------------|
| 現金寄附 | 1,164件 | 36,271千円 | 248施設 | ※物品購入の助成金等として配分 |
| 物品寄附 | 237件 | 11万5千点 | 1,224施設 | |
| 招待寄附 | 220件 | 2万3千人 | 5,088施設 | |

 東京善意銀行のウェブサイトには、様々な資料を掲載しています。ぜひご覧ください。



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会(福祉振興部)

東京善意銀行

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館3階
Tel 03-5283-6890 Fax 03-5283-6997 E-mail zen-i@tcs.w.tvac.or.jp
<http://www.tcs.w.tvac.or.jp/zengin>